

なす からすやま

No.147

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

那須烏山市2代目市長に川俣純子氏が就任……	2
中学生海外派遣事業……	4
市消防団通常点検……	6
市文化祭や近代化遺産イベント……	8
健康福祉まつり……	10
受賞おめでとうございます……	12
健康長寿セミナーを開催しています!……	14
けんこう・消費者コラム……	15
まちのわだい……	16
インフォメーション……	18
烏山高校の紹介・ジオパーク構想だより……	20

2017

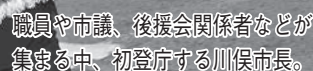
12

December



ミカン狩り楽しいね! (11月14日、ミカン狩り体験)

那須烏山市2代目市長に



那須烏山市長選挙が、10月22日(日)に行われ、開票の結果、元市議会議員の川俣純子氏(57歳・旭2丁目)が初当選を果たし、本市では2代目となる市長が誕生しました。また、県内では初の女性市長となりました。

選挙から一夜明けた10月23日(月)、市役所烏山庁舎で佐竹信哉選挙管理委員会委員長から当選証書を受け取った川俣氏は、「調和のとれたまちづくりをしていきたい」とあいさつ。11月6日(月)の初登庁では、職員や市議、支援者など、約150人に拍手で出迎えられると、「皆さんの期待を裏切ることなく、良いまちにしていきたい。共に頑張りましょう」と決意を語りました。

この日は、那須烏山市と那珂川町で構成する南那須地区広域行政事務組合の正副組合長会議も開かれ、組合長に川俣市長が、副組合長に那珂川町の福島泰夫町長が就任しました。

●3つの公約

- ・市民と向き合い「全員参加のまちづくり」を推進します。
- ・厳しい「財政状況の立て直し」を図ります。
- ・広域的な「自治体間の連携強化」を図ります。

広報なすからすやま 2017.12 2

笑顔に満ち溢れた 元気で活気ある那須烏山市のために

10月22日(日)に行われました市長選挙におきましては、皆様から強いご支援、ご支持をいただき、那須烏山市長として市政を担わせていただくことになりました。少子高齢化に伴う人口減少や厳しい財政状況など多くの課題がある中、市民の皆様から寄せられた期待の大きさと責任の重さに身の引き締まる思いであります。

私は、市議会議員を2期7年務めさせていただき、その中でも市政運営において市民の皆様から本市の将来を不安視する声を多数耳にしました。こうした閉塞感から一刻も早く脱却するため、新たな視点や発想を取り入れながら、本市の再生を図ってまいりたいと考えております。

そのために、次の3つを公約に掲げさせていただきます。

1つ目は、「市民と向き合い、全員参加のまちづくりを推進」です。人口減少により、これまで行政主導で行われてきた公共サービスを従来のように提供することは困難であります。今後は、公共サー



市長 川俣 純子

ビスの新たな担い手として、行政と市民が共に知恵を出し合いながら、まちづくりを行うことが重要と考えております。

2つ目は、「厳しい財政状況の立て直しを図る」です。自主財源が少ない本市にとっては、歳入確保に努めることが重要であります。まずは歳出削減に取り組みたいと考えております。将来の本市を支えていく子どもたちのためにも、10年、20年先を見据え、市民との丁寧な合意形成を図りながら選択と集中により優先順位を明確化し、行財政改革に取り組んでまいります。

3つ目は、「広域的な自治体間の連携強化を図る」です。本市を取り巻く社会・経済情勢が絶えず変化中、地域経済の活性化、業務の効率化、負担軽減を図るために広域的な連携を行うことが必要不

可だと考えております。人口減少問題は、本市のみの問題ではありません。広域連携を通じて地方創生の取り組みを進めてまいります。

今後、公約実現に向け、7つの具体的な取り組みを行い、より良いまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

本市には素晴らしい人々が住んでおります。そしてたくさんの方々の貴重な地域資源を有しております。私の愛する那須烏山市の市民1人ひとりが笑顔に満ち溢れた元気で活気ある那須烏山市へと変えていくためにも私の政治理念である「『覚悟』『責任』『対話』による市民のための市民参加の市政運営」を目指し、持ち前の「明るさ」「情熱」「パワー」で新たな那須烏山市を市民の皆様と一緒に創り上げて参る所存です。

大谷範雄市長が退任 21年間の行政運営に幕

11月5日(日)に任期満了を迎えた大谷範雄市長の退任式が、2日(木)に烏山公民館で行われ、市職員や市議など約150人が出席しました。

大谷氏は、旧南那須町の助役2期、町長1期、2町合併で誕生した那須烏山市の初代市長を3期務め、約21年間にわたり行政に携わりました。

退任式では、合併による市政執行や東日本大震災の災害復興など12年間の市政運営を振り返り、「ここまでこられたのも歴代の議員や職員の『教え』があつてのこと。これからの、助け合い、支え合いながら、安全安心なまちづくりにまい進してほしい」とあいさつしました。

その後、市役所烏山庁舎玄関前で、大谷氏の妻美恵子さんと孫航史さんが「ありがとうございました」という言葉とともに花束を贈呈。大谷氏は、職員や後援会関係者に拍手を送られながら市役所を後にしました。



上：大勢の人に見送られる大谷氏。下：大谷氏に花束を贈呈する妻美恵子さんと孫航史さん。

中学生14人が アメリカ メノモニー市に ホームステイ

国際的視野の拡大と国際協調の精神を養うことを目的とした、市の中学生海外派遣事業が、10月1日(日)から9日(月)祝までの9日間の日程で行われ、市内外3つの中学校の2・3年生14人が、姉妹都市のアメリカ合衆国メノモニー市を訪れました。

派遣先では、ホームステイや学校生活をとおして、アメリカの文化や教育などを体験しました。生徒たちは、帰国後、現地での活動の様子や感想などを報告書にまとめました。その中から、生徒たちが異国の地で感じた驚きと感動を一部抜粋して紹介します。

また、市では、これらの感想をまとめた英訳付きの英字新聞の編集を進めています。完成後は、参加した学校や派遣先のメノモニー市に送る予定です。



◀ホストファミリーの子どもたちと食事をしながら交流。
▼小学校で日本文化を伝える生徒たち。

■なかなか英語で話せなかった私に、ホストファミリーは笑顔でゆっくり話しかけてくれたり、私の話に最後まで耳を傾けてくれたりしました。おかげで楽しく会話をすることができました。現地の人たちが優しく親切に接してくれたので、笑顔が絶えない毎日でした。またいつかホストファミリーと会えることを願っています。

小野里春花

■学校に行くまでの道には、トゥモロコシ畑があったり、牛がいいたり、大きな会社があったりしました。学校の授業では、みんなパソコンを使ったり、日本と雰囲気の違いを感じました。ホームステイや学校生活では戸惑うことや困ったこともありましたが、それ以上に楽しいことや嬉しいことがたくさんあり、とても良い経験ができました。

津田彩香

■特に心に残ったのは、二日目のホームステイ先の子と見学旅行に行ったことです。彼ら

はとても優しく接してくれたので、ぐ不安が消えました。現地の学校ではみんなと仲良くなりました。それに、日本の文化に興味を持つてくれてうれしかったです。僕は英語を上手に話すために一生懸命勉強します。そして、この感動は一生忘れません。

石川由翔

■ホストファミリーは、とても親切で優しく、私たちにわかるようゆっくり英語を話してくれたので楽しく会話が出来ました。私が風邪をひいてしまった時には、薬をくれたり、暖かいものをくれたり家族みんな心配してくれました。お母さんには、忙しいのに私のスピーチの練習を手伝ってくれて本当に感謝しています。

大久保芽華

■オータムと出会ったとき、緊張のあまり何を話そうか考えてきたのに話しかけることができなくて、もどかしさを感じました。でも、海外派遣で私は大きく成長しました。自分の言葉で精一杯伝えれば、気持ちが通じ合えること。生まれた国が違って、みんな仲良くできること。たくさんのかを学び、充実した日々を過ごすことが出来ました。

高堀遥菜

■現地では、バスケットや、ショッピングに行ったり、とても楽しかったです。学校は、みんな明るく声をかけてくれ、楽しく話すことができました。ホストファミリーと別れるときは、寂しさや、感謝の気持ちでいっぱいでした。9日間のアメリカの滞在を通して、素晴らしい経験がすることができました。この思い出は、私の一生の宝物です。

伊藤妃菜

■私が滞在中に最も学んだことは、積極的にコミュニケーションをとることの大切さです。アメリカに行く前の私の目標が「伝わる英語」「伝える英語」を少しでも多く習得することでした。幸い私の知っている英語で会話ができましたが、英語を通じるようにするにはもっと

●主な派遣日程●

10月 1日(日)…那須烏山市出発、羽田空港からミネアポリス空港へ。バスでメノモニー市へ
2日(月)…グリーン農場やキャディ・ウッドラン生家、ローラの家などを見学。生徒は7日までホームステイ
3日(火)…ホームステイ先の生徒とメノモニー中学校で授業に参加
～6日(金) うち3日は、オークラウン小学校を訪問し、日本文化を紹介
7日(土)…ホームステイ先の家族と過ごし、返戻パーティーへ参加
8日(日)…ミネアポリス空港出発
9日(月祝)…羽田空港へ到着後、バスで那須烏山市へ

●派遣団員●

団長…田代和義(教育長)
団員…小野里春花・津田彩香(矢板東高付属中2年)、石川由翔・大久保芽華(南那須中2年)、高堀遥菜・伊藤妃菜・小口里穂(烏山中3年)、小堀亮成・樋山風翔・井口旭・井上陽斗・小田戸文萌・益子大輝・石井楓(烏山中2年)



健康増進をしながら市をPR！ ヘルスツーリズムでなすから満喫

実践型地域雇用創造事業に取り組む那須烏山市地域雇用創造協議会によるモニターツアー「ヘルスツーリズムでなすから満喫」が、11月11日(土)から12日(日)にかけて行われました。

これは、健康と観光を組み合わせ、那須烏山市をPRしようという行われたモニターツアーで、県内外から10人が参加しました。

11日は、第2次世界大戦末期に戦車を製造するために建造された



龍門の滝を眺めながら行われたヨガ。

地下工場跡で、現在は酒蔵として使用されている「どうくつ酒蔵」の見学後、ウォーキングで龍門の滝まで移動し、滝を眺めながらヨガ体験をしました。宿泊場所となった「はたるの里の古民家おぐす」では、星空観察を行い、夜空いっぱい星を楽しみました。

12日は、早朝に予定していた国見の雲海は観測できませんでしたが、朝日輝く秋晴れの中に富士山を見ることができました。また、

この日はディンプルアート体験や和紙会館、クラフト館、島崎酒造の見学し、参加者たちは那須烏山市の自然や歴史、伝統などを堪能しました。

宇都宮市から参加した岩原彩乃さんは、「初めてこのようなツアーに参加したが、那須烏山市のことを知ったり、自然の中で運動したりと、とても楽しかった。また参加してみたい」と笑顔で話していました。



海外派遣に参加した派遣団と現地の中学生ら。

とたくさんの英語を覚えなければいけないと感じました。

■小学校での日本文化の紹介はとも喜んでくれました。楽しみにしていたパレードは悪天候で中止。とても残念でしたが現地の友達と協力して準備をしたことは貴重な時間でした。慣れない初めての海外での生活はすごく緊張したけどホストファミリーと過ごせて嬉しかったです。

■観光地ではメノモニーの歴史を知ることができました。中でも木でできた「ローラの家」は僕の好きな「お猿のジョージ」でしか見たことが無いような家で驚きました。初めてホストファミリーに会った時は英語が通じることが不安でしたが、ゆっくりと話してくれ、とても楽しく会話してくれたので、すぐに馴染むことができました。

樋山風翔

■ホームステイ先の家族との暮らしはとても楽しく、いつの間にか心から安心して楽しい

日々を過ごすことが出来ました。エヴァンのフットボールの試合を見に行ったことも、ホストファミリーとの食事も、学校での生活も鮮明に思い出せます。ホストファミリーと別れるとき、もう少し居たいと感じるほど楽しく、心に残りました。

井口旭

■学校では、生徒がパソコンを使って授業をしていました。なぜなら、先生と課題をパソコンでやりとりするからです。日本でも、このシステムを取り入れれば、学力はさらに上がり、日本人が世界で活躍できるようになると思います。僕は、将来、一貫連の仕事に就きたいという夢を実現させる為に、この経験は役に立ったと思います。

井上陽斗

■学校は日本との違いが多くてびっくりしました。ですが、エマは一つずつ私たちに教えてくれました。アメリカの先生も私たちのことを快く受け入れてくれました。スーザンが作ってくれた料理はどれもおいしかったです。

食事の時は「いただきます」を家族みんなで言うてから食べました。頑張つて覚えてくれて、とても嬉しかったです。

小田戸文晴

■ホストファミリーは色々な所へ連れて行ってくれました。高校のバンドのコンサートに行ったり、ウィルとゲームやサッカーをしたりして楽しかったです。メノモニーで過ごした日々は僕の大切な思い出です。大人になったら僕はもう一度メノモニーに行ってみたいです。そして、ホストファミリーに再会できたらいいなと思います。

益子大輝

■学校では、先生が優しく色々な日本の質問をしてくれたり、日本に興味を持ってくれました。生徒たちは、とてもフレンドリーで「Hi」などと気軽に声を掛けてくれました。アメリカの人たちは、優しく、とてもフレンドリーで良い所がいっぱいあると思いました。メノモニーで過ごした日々は、とても大切な時間となった一週間でした。

石井楓

防火・防災
意識高める

市消防団通常点検

11月12日(日)、那須烏山市消防団(興野一美団長)による通常点検が大桶運動公園で開かれ、消防団や市内2つの中学校の少年消防隊489人が参加しました。

この点検は、非常時に備え、服装や機械器具、放水などを点検することです。市民の防火・防災意識を高め、毎年行われているものです。各種点検・講評が行われたほか、消防活動に貢献した団員や団体に対する表彰が行われました。その

後、場所を烏山市街地に移動し、烏山中央公園から山あげ会館までの区間で、団員と消防車両による分列行進が行われました。

なお、模範消防団員知事表彰、県消防協会会長表彰などの受賞者は次のとおりです。(敬称略)

■栃木県知事表彰

▽模範消防団員表彰：片岡孝幸、内藤一貴

■栃木県消防協会会長表彰

▽功績章：大橋昭一

▽勲績章

【25年】渡邊兼一、関口正美

【20年】洪井英樹、山村優一、佐藤信幸、山村浩之、堀江辰徳、服部吉和、横山壮一、鈴木正寿、堀江義弘、相吉澤徹、佐藤将行、高徳隆一、加藤光一、塩野目一浩

【15年】

仲山健司、小林輝幸、高久英明、塩田一幸、菊地俊行、滝口純、久保居悟、玉造博史、岡崎和正、森裕司、大笹和博、吉成孝浩、池尻雅洋、吉川卓、笠原勇一、薄井正敏、堤潤、大橋誠、糸井敦史、岡一彦、清水友彦、川越敏浩、滝口英幸、相吉澤健、平野淳一、久保居章夫、平山裕一、黒石田利文、高橋達大

上：団員と消防車両による分列行進／下：機械器具点検などが行われた通常点検。



■栃木県消防協会南那須支部長表彰

▽功績章：荒井裕明、山村優一

▽兄弟消防団員表彰：大窪柊晴、健之、常盤郁哉、祐哉

JR烏山線の利用向上

市民号で優雅な旅を満喫

今年もJR烏山線の利用向上や市民同士の交流を図ろうと、

「第10回那須烏山市民号」が2コースで開催されました。

10月15日(日)～17日(火)までの

「天空の大パノラマ駒ヶ岳ロープウェイで行く 日本のアルプス千畳敷と温泉とおもてなしの宿3日間」の長野・新潟県への旅

には、43人が参加しました。

また、11月19日(日)～21日(火)までの「別府温泉に泊まる紅葉の高千穂と南国宮崎2泊3日」の大分・宮崎県への旅には、70人が参加し、観光名所巡りを楽しみました。

いずれのコースも、出発時にJR烏山線に乗り、利用向上を図りました。



上：蓬平温泉前にて／下：「荒城の月」のモデルとなった岡城址を見学。

ひまわり写真コンテスト結果発表！

8月に募集し、その後、南那須庁舎と南那須図書館で展示し、投票が行われた「ひまわり写真コンテスト」の結果が発表されました。応募作品44点の中から、見事、最優秀賞を獲得したのは、笹崎博さん(志鳥の作品「真夏の彩り」)。優秀賞には、田代宏明さん(塩谷町、

取付けてありますか？住宅用火災警報器

平成21年6月1日より、那須烏山市の新築、既存を問わず、すべての住宅（店舗併用住宅やアパート（自動火災報知設備が設置されているものは除く。）も含みます。）に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

「住宅用火災警報器」ってなに？

火災で発生した煙を感知し、音や音声により警報を発して火災の発生を知らせてくれる機器です。

なぜ住宅用火災警報器の設置が必要なのか？

- 建物火災で死亡した人のうち、約9割が住宅火災によるものです。
- 住宅火災による死者は、22時から翌朝の6時までの就寝時間帯に多く発生しています。
- 住宅火災で死亡した要因として最も多いのが「逃げ遅れ」です。

以上の点から、火災をいち早く感知し、就寝中の住人に知らせ、逃げ遅れを防ぐためです。

住宅用火災警報器の設置場所

次の住宅の部分に住宅用火災警報器（煙式）の設置が必要となります。

- ①必須：就寝する部屋（寝室、子ども部屋など）
- ②条件あり：就寝する部屋がある階の階段の最上部（寝室が二階にある場合）
- ③条件あり：住宅用火災警報器を設置する必要がなかった階で7㎡（4畳半）

以上の居室が5部屋以上ある階の廊下部分

また、火を使う台所にも設置する事をお奨めします。この場合、住宅用火災警報器（熱式）が適しています。

住宅用火災警報器の取り付け位置は？

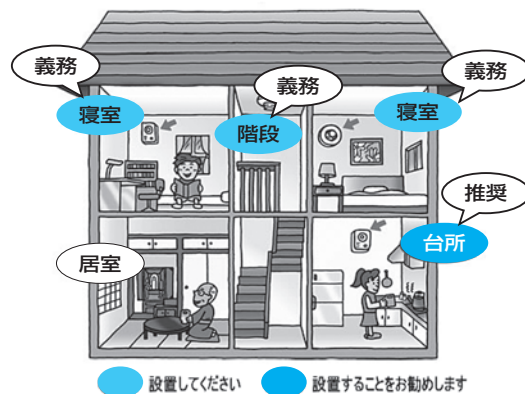
天井や壁にネジで固定するだけです。取り付け位置図をご参照ください。

○設置した後も定期的な点検が必要です。また、電池切れの際に、設置から10年以上経過している場合は、電子部品が劣化しているので本体の交換を推奨します。

○消防署では、消火器や住宅火災警報器の販売は一切行っておりませんので、悪質な訪問販売等には十分注意してください。

○住宅用火災警報器は、お近くのホームセンター及び家電量販店等で安いもので1個あたり2000～3000円程度で購入できます。

■住宅用火災警報器に関する問合せ 那須烏山消防署 ☎0287-82-2009



「青空の下ひまわり畑をアキュム走る。」
増田秀成さん



「アキュムが行く」
田代宏明さん



「アキュムを見守るひまわり」
鉄太郎さん



「ひまわりの群生とアキュムの競演」
渡辺実さん



最優秀賞
「真夏の彩り」 笹崎博さん

渡辺実さん（小山市）、増田秀成さん（足利市）、鉄太郎さん（匿名 那須烏山市）の作品が選ばれました。



①書道体験に挑戦／②③④烏山体育館で行われた作品展示／⑤健康福祉まつりと同時開催された菊花展。
▼烏山公民館で行われた芸能大会。

芸術の秋に
触れる！

市文化祭

10月28日(土)、29日(日)を中心に、市文化祭(同運営委員会主催)が、烏山公民館や烏山体育館などで開かれました。今年は、当初文化祭が予定されていた日に衆議院議員選挙や市長選挙が重なったことから、ほとんどの催しが1週間の延期となりました。

烏山公民館では、28日に芸能大会が開かれ、民謡や舞踊、詩吟など芸能活動に取り組む団体などが、ステージ上で練習の成果を披露しました。翌日には、市文化協会茶道部によるお茶会が開かれ、本格的なお点前で参加者にお茶を振舞いました。烏山体育館では、両日、市民や文化協会員から募集した文芸や書、美術、工芸などの作品を展示。また、書道や押し花、ディンプルアートなどの無料体験も行われ、連日多くの地域住民でにぎわいました。そのほかの会場では、囲碁のつどいや菊花・盆栽展など様々な催しも行われました。



い」と話していました。

福島委員長は、「こういった地道な取り組みが地域おこしにつながり、いつか全国の人が見てくれる。鉄道唱歌をうまく活用し、多くの人に那須烏山市に愛着を持ってもらえるようにしたい」と話していました。

当日は、地域おこし団体グラボの渡邊貴也さんを進行役として招き、「どんな場面で歌われたか」などをテーマに活用アイデアが出されました。出てきたアイデアをもとに、市民だけでなくできる活用方法を見つれたり、どんな協力者がいれば実現できるかなども話し合ったりして活用に向けての可能性を探りました。

まちづくり研究会(福島二朗委員長)によって、昨年度誕生した「現代版烏山線鉄道唱歌」の活用方法を考えようと、11月1日(水)、同研究会による市民ワークショップが市役所烏山庁舎で開かれ、地域住民など20人が参加しました。



様々な意見が出されたワークショップ。

近代化遺産全国一斉公開2017 in なすからすやま

どうくつでお宝を大公開！

那須烏山市まちづくり研究会福島二朗委員長による「近代化遺産全国一斉公開2017 in なすからすやま」が、11月18日(土)に開かれ、近代化遺産の一つ、島崎酒造どうくつ酒蔵で、「なすからお宝ありますから」が開催されました。

会場内では、和紙灯り作家の鎌田泰二さんが手掛けた温かな照明がどうくつ内を照らす中、市民から集めた昭和の雰囲気や昔懐かしい家電やゲーム機、烏山線キハ40のジオラマ、JR所有のヘッドマークなどおよそ100点が展示され、約500人が来場しました。なかでも、かつて旧烏山町に



工場が存在したオートバイメーカー目黒製作所が製造したバイクと、イタリア最古のオートバイメーカーモト・グッチのバイクには、その珍しさに訪れた人は目が釘付けとなりました。

会場の外では、県内初となる電動二輪車「インモーション」体験や子ども駅長制服体験のほか、発掘化石の展示、バルーンアートなど様々な催しが行われました。

さらに、この日、街に賑わいを興す会でも街巡りイベントとして、着物姿の参加者46人がどうくつ酒蔵を見学。参加した高野千恵子さん(南1丁目)と大谷美恵子さん(小



レトロ感漂う展示品に見入る来場者たち。

近代化遺産ってなに？

近代化遺産とは、幕末から明治・大正・昭和戦前期にかけて、欧米の文化や技術を使って作られ、日本の近代化に貢献したと認定された建物や構造物のこと。市内には14か所の建造物が確認されており、公開日当日には、平成19年度認定土木学会推奨土木遺産「境橋」や平成24年度認定土木学会推奨土木遺産「烏山防空監視硝」、「旧烏山病院(現和紙会館)、第2次世界大戦末期に戦車を製造するために建造された地下工場跡「島崎酒造どうくつ酒蔵」が公開されました。



子どもに大人気のインモーション体験。

河原は、「タイムスリップした気分。昔のことを思い起こし懐かしくなった」と話していました。

烏山高生が学生駅からハイキング おもてなし

11月18日(土)、烏山高の生徒が市内を案内し、おもてなしなどをするウォーキングイベント「学生駅からハイキング」が開かれ、市内外から102人が参加しました。

このイベントは、JR東日本大宮支社が主催するもので、今回は、同支社、那須烏山市、高根沢町、栃木銀行で構成するJR烏山線沿線まちづくり推進協議会と烏山高校の共催により開催されました。

同協議会では、地域資源の創出や烏山線を中心とした交流人口増加などに向けた事業を進めています。今回は、その一環として烏山高と高根沢高の生徒の意見を基に、両校の最寄り駅を起点にした2コースを企画しました。

烏山高生が考えたのは、JR烏



上：石造り倉庫群で解説をする生徒。
下：茶華道部によるおもてなし。

山駅を起点に、泉溪寺、八雲神社、烏山高、石造り倉庫群や境橋などの近代化遺産も組み込まれたコース。石造り倉庫群と境橋では生徒による解説が行われ、参加者たちは実際に橋を渡るなどして近代化遺産を肌で感じました。烏山高では、茶華道部による抹茶とお菓子が振舞われ、参加者は生徒からのおもてなしに笑顔を見せていました。

境橋での解説を担当した烏山高1年佐藤漢さん(興野)は、「市の宝をたくさんの人に知ってもらいたいという気持ちで説明をした。難しい説明だったが、練習の成果が出せた」と話していました。

また、翌日には、高根沢高の生徒が企画したコースで駅ハイが行われ、大勢の人でにぎわいました。

健康はみずから歩く一歩から、心で結ぼう福祉の輪

第12回 健康福祉まつり



①消防隊に装い煙ハウス体験／②笑顔いっぱい販売員／③健康的なお茶を試し飲み／④ミニ・コン・タック体験。

健康や福祉への関心を高め、年齢や障がいを超えた交流の輪を広げようと、市社会福祉協議会を中心とした実行委員会による「第12回那須烏山市健康福祉まつり」が、11月5日(日)、保健福祉センターで開かれ、地域住民など2500人でにぎわいました。

会場では、市、地域おこし団体、企業など54団体により、健康福祉体験・啓発交流コーナーや模擬店コーナーなどが設けられました。スタンプラリーも行われ、様々な体験とおして参加者は福祉について考える機会となったようです。また、高齢者施設利用者や南那須特別支援学校の児童・生徒の作品をはじめ、

福祉標語・ポスターの展示なども行われ、大勢の人が足を運びました。

そのほか、那須烏山ふるさと太鼓保存会による太鼓の演奏や、クラブオアシスによる健康体操などが披露され、イベントに花を添えました。



⑤クラブオアシスによる健康体操／⑥南那須中の生徒もボランティアで参加／⑦太鼓演奏で会場を盛り上げる那須烏山ふるさと太鼓保存会／⑧募金のお返しに風船のプレゼント。

緑を大切に……!

苗木配布と木工体験で緑化活動を推進

健康福祉まつりが行われた5日(日)、会場内で市緑化推進委員会による「苗木配布会」と「木工体験教室」が行われました。

苗木配布では、ブルーベリーの苗木400本が国井豊副市長やマロニエメイツから配布されました。

木工体験では、マイ箸づくりが行われ、親子連れなどがやすりを使って箸づくりに挑戦しました。

また、会場で行われた緑の募金では、1万6201円が集まりました。募金は、みどり推進機構を通じて、市内の緑化に活用されます。

商工業のPRと
地域活性化を図る

商工会まつりと軽トラ市

11月3日(金・祝)、那須烏山商工会による「第10回商工会まつり」で「スー爺サンタの軽トラ市」が、山あげ会館周辺で開催され、約3000人が訪れました。

会場では、那須烏山ふるさと太鼓保存会や烏山高校吹奏楽部など様々な団体のステージ発表のほか、模擬店でピザや焼きそ

ば、パンなどが販売されました。なかでも、ムラおこし応援団の福祉石窯焼きピザが大好評。ピザ生地は福祉施設で作られたものを使用していることや、今回の益金は社会福祉のために使われることなどが特徴で、焼き上がり待列ができていました。軽トラ市では、農産物や飲食物、

アクセサリーの販売、バザーが開かれ大勢の人が立ち寄りしました。また、恒例の「ミニアキム乗車体験」では、順番を待つ親子連れで長蛇の列ができていました。そのほか、もちまきや抽選会、消防署による煙ハウス体験など多彩な催しにより会場は大いに盛り上がりを見せました。



①様々な団体により踊りや歌などが披露されたステージ／②アクセサリーや農産物の販売が行われた軽トラ市／③もちまきが始めると会場はいっぱいになる。

農業をもっと身近に 第19回JAまつり

第19回JAまつりが、11月4日(土)、5日(日)にJAなす南本店で開かれ、約1万6000人が訪れました。

会場では、農産物の販売や品評会、地産地消を促す米や和牛の消費拡大コーナーなど数多くのブースが並びました。ステージでは、恒例の梨の皮むき大会や、歌謡ショーなどが行われたほか、栃木県警察音楽隊が初めて登場し、会場を盛り上げました。また、会場中央に設置されたやぐらでは、がらまきが行われ、大勢の来場者でにぎわいました。



上：栃木県警察音楽隊による演奏／下：寸劇により救命活動を実演する消防署員。
▼新鮮な野菜などが販売された地産地消フェア。



ブルーベリーの苗木配布会。



マイ箸づくり体験に挑戦する参加者。

食生活改善推進員の石川さん 厚生労働大臣表彰を受賞

食生活改善推進員として地域の食生活改善や健康づくりに取り組む石川陽子さん(向里)が、平成29年度栄養関係功労者として厚生労働大臣表彰を受賞しました。



大臣表彰を受けた石川さん。

石川さんは、昭和56年6月から現在の那須烏山市食生活改善推進協議会の前身となる烏山保健所地区健康教室友の会に入会し、役員などを経て、平成22年からは会長として活躍されています。また、栃木県協議会では、28年から副会長を担うなど、様々な役職に就き組織の中心的な推進役として、活動に積極的に取り組んでいます。活動は、高血圧予防のための減塩料理講習会の開催、健康福祉ま

つりや各種イベントでの食育普及活動、行事食・郷土食の普及活動など様々。自主学習活動などで習得した知識や技術などを機会あるごとに伝え、地域住民の健康づくりに貢献しています。石川さんは、「私たちの健康は私たちの手で」という活動理念に基づき、減塩運動や野菜の摂取を地域の皆さんに呼びかけ、健康な長寿を増やしていきたい」と話していました。

檜山雅友さん・義友さん兄弟 県の珠算大会でW優勝

市内の珠算塾に通う烏山小3年の檜山雅友さんと1年の義友さん(南1丁目)が、県の珠算大会で姉弟そろって優勝を果たしました。

8月11日(金)に宇都宮市とちぎ健康の森で行われた「第54回栃木県商工会珠算大会」では、雅友さんが3年生の部個人総合競技、読上算競技で優勝、義友さんは2年生以下

の部読上暗算競技で優勝。また、10月9日(月・祝)に同所で行われた「第53回栃木県珠算競技大会」でも、雅友さんが第1部A(小学3年生)の部個人総合、読上暗算、読上算で

優勝、義友さんがジュニアの部(小学2年生以下)個人総合、読上暗算で優勝しました。

さらに、雅友さんは、11月12日(日)に東京都で行われた「第56回全関東珠算競技大会」にも出場。個人総合競技、フラッシュ暗算競技で決勝戦へと進み、2等という結果を残しました。

雅友さんは、「努力してもっと上手になりたい」、義友さんは、「お姉ちゃんに追いつけるように毎日頑張って勉強したい」と話していました。



姉弟で優勝を果たした雅友さん(左)と義友さん(右)。

園児が国見の山でミカン狩り

ミカン収穫の最盛期を迎えた11月14日(火)、すくすく保育園の年長組の園児17人が、小木須の国見地区にあるミカン園で、ミカン狩りを体験しました。

国見地区にあるミカン園は、品種改良していない観光果樹園としては日本の北限と言われており、通常のミカンよりも酸味があり、味が濃いのが特徴。今年は10月下旬から、5つの園がオープンし、連日、地域住民やバスツアーで訪れた観光客などでにぎわっています。

この日、園児たちは、観光果樹園の一つ国見山みかん園を訪問。日当りの良い急斜面のミカン畑には、オレンジ色をした実がたわわに実り、ほのかにミカンの甘酸っぱい香りが漂います。同園の小森義男さんにもぎ取り方を教わった園児たちは、一生懸命に収穫し、ネットいっぱい詰まったミカンに笑顔を見せていました。味見をした園児たちからは、「あまずっぱくて美味しい」と歓声が上がりました。

【写真】上：もぎ取り方を教わる園児たち／下：園児がミカン狩りに挑戦。





▲表彰式に参加した子どもたちと来賓の皆さん。

岡さんの作品は、大輪に花咲くひまわり畑の中を兄弟と一緒に乗るアキムで駆け抜けるのを表現。岡さんは、「ひまわりの花びらを一枚ずつ綿棒で色を付ける工夫をした。最優秀賞に選ばれて嬉しい」と笑顔を见せていました。

入賞、佳作作品72点は、今後、アキム車内や市役所、図書館で掲示される予定です。

鳥山線桜並木鉄道実行委員会（小堀恵美子代表）による「元氣いっぱい」なすからつ子鳥山線アキム絵画コンテスト」の表彰式が、10月

アキム絵画コンテスト 江川小3年 岡さんが最優秀賞

27日（金）、市役所鳥山庁舎で行われました。

同実行委員会では、「鳥山線桜並木鉄道大作戦」と称し、JR鳥山線を活用し、さらに愛される那須烏山市にするため鳥山線を桜や花で飾る活動などを行っています。このコンテストは、「アキム」の周知や本市の子どもたちに郷土愛を育んでもらおうと毎年開かれてい

るもので、今年で4回目となりました。

市内5つの小学校や南那須特別支援学校から過去最多となる582点が応募され、表彰式には、上位入賞者24人が参加しました。最優秀賞には、江川小3年の岡ア

ンニケルらなさん（熊田）が選ばれ、表彰状が贈られました。



中高生ら36人が被災地訪れ交流

手紙やにっこり梨届ける

那須烏山市災害ボランティアチーム龍JIN（小堀恵美子代表）と市内中高生36人が、11月12日（日）、東日本大震災で被災した仙台市や石巻市を訪れ、手紙や本県特産の梨「にっこり」約80キロを寄贈しました。

この活動は、チーム龍JINとJAなす南が震災当初から実施しているもの。この日、参加者は仙台市荒浜小震災遺構を見学後、石巻市の復興住宅集会所2か所を訪れ、応援メッセージを朗読したりハンドベル演奏や踊りを披露したりして現地の人々と交流しました。

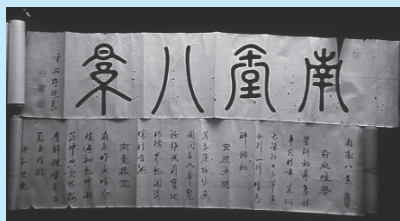
同行したJAなす南の山田清組合長は、「ずっと支援してきたことが間違いでなかったと強く感じた。復興は進んでいるが新たな課題が発生している。今後も、支援の活動は長く継続すべきだ」と話していました。

また、鳥山高2年の堀江月星さんは「2年ぶりに訪れたが復興が進んでいて驚いた。訪れるたびに被災者から元気をもらってばかりなので今回は積極的に活動に参加した。学んだことを周りの人に伝えていきたい」と話していました。

シリーズ 市の文化財 第80回

市指定有形文化財（歴史資料）

とうこうしんえつぜんじなんだいはっけいしかん
東皐心越禅師南台八景詩巻（南）



心越禅師は、みんこくせつこうしやう明国浙江省出身の禅僧です。延宝8年（1680）、明国の戦乱を避けて長崎に来航し、後に日本に帰化しました。元禄5年（1692）、徳川光圀の招きに応じて水戸に移住し、没するまで光圀の敬愛を受けました。詩文、書画、篆刻に優れ、中国の伝統楽器「古琴」を日本に伝えたことで広く知られています。

本詩巻は、「南台八景」と大書された初巻と、8つの漢詩「鳥山晴嵐 宮原夕照 南台暮雪 隣寺晚鐘 戦場落雁 那珂帰帆 桜井夜雨 東嶺秋月」が書かれた次巻からなります。元禄6年（1693）、禅師が天性寺の龍山和尚を訪ねた折、南台山（天性寺周辺の丘陵）で仲秋の名月を鑑賞し、詠んだ作品と伝わっています。

健康寿命を延ばすために、家に閉じこもらずに社会との関わりを継続していくことが大切です。

今後も様々な自主グループを増やし、第二の人生の楽しみの幅を広げていきましょう。



健康づくり 生きがいづくり 仲間づくり

健康長寿セミナーの活動を紹介します！

市では、平成27、28年度に、健康寿命の延伸を目的に高齢者が生きがいを持って楽しく集える機会として、「健康長寿セミナー」を開催しました。現在3つの団体が自主活動を継続しており、それぞれの活動を紹介します。

各団体に興味を持った人は、健康福祉課高齢いきがいグループ ☎0287-88-7115までお問い合わせください。

■健康マージャン

健康マージャンは、ねんりんピックの種目でもあり、「(お酒を)飲まない、(タバコを)吸わない、(お金を)賭けない」の3つを守ること、指先と頭を使うスポーツになり、認知症予防に効果があると言われています。1対1ではなく4人でテーブルを囲んで行うため、会話をしながら楽しく行っています。女性よりも、男性が多い団体ですが、初心者でも、参加者から丁寧に教えてもらい、楽しく行えています。

【活動場所や日時】

○烏山地区 烏山公民館 毎週火曜日午前9時～午後4時

○南那須地区 いきいき交流館 毎週金曜日午前9時～午後4時



■スポーツ吹矢

スポーツ吹矢は、全国的に子どもから高齢者まで、様々な世代で行われています。大きく息を吸い吐くことで、肺機能の向上や、嚥下機能の維持につながり、正しいフォームが身につくことで、姿勢の改善につながると言われています。団体内での大会や、県の大会に参加し入賞した参加者もいます。

【活動場所や日時】

○保健福祉センター 毎週木曜日午前9時30分～11時30分

■シャフルボード

キュー(棒)でディスク(円盤)を押し出し、カーリングの様に滑らせ、的に近づけるゲームです。

1対1や2対2で行います。力を入れるは必要ありませんが、点数を取るための作戦を考えることで、頭の体操になると言われています。また、他市との交流会も行っています。

【活動場所や日時】

○南那須公民館 毎週火曜日午後1時30分～3時



けんこうコラム⑨ なんぼでも★Let's 健活

早いものでもう12月。年末年始は、クリスマスや忘年会、新年会などの行事が続ぎ、皆で集まりお酒を飲む機会が増えますね。

お酒は、ほどほど(適量)であれば、リラックス効果やHDL(善玉)コレステロールが増えるなど良い効果があります。しかし、飲みすぎるとメタボリックシンドロームに繋がる、眠りが浅くなる、依存症や認知症、うつ病などの精神・脳の障害など、悪い影響を与える場合があります。

お酒は、“なんぼでも！”というわけにはいきません。お酒を飲む習慣がある人は、適量を知り、健康的な飲み方を意識してみてください！そうすると、何歳になってもおいしいお酒を楽しめるはず♪

～上手な飲み方のコツ～

1. 食事をしながら飲む(最初のひと口は野菜・きのこ・海藻類！)
2. だらだら飲み、一気飲みをしない
3. たまに飲む場合も大酒しない
4. 飲む前・合間に冷たい水などでどの渴きを落ち着かせる
5. 週に2日は休肝日をつくる

お酒の適量知っていますか？

週2日は休肝日！

1日1合以内！

《1合の目安量とは…純アルコール量 20g程度！》

				
ビール 500ml (中ビン1本) 200kcal	日本酒 160ml 172kcal	焼酎 90ml (25度) 146kcal	ウイスキー 60ml 142kcal	ワイン 200ml 146kcal

※適量は個人差があります。女性・高齢の人などが飲む場合、この適量より少ない場合もあるので注意が必要です。妊婦は胎児への影響がある場合もあるため飲むのはやめましょう。

※飲めない人に無理にすすめたり、一気飲みをすすめたりすることは急性アルコール中毒を起こす可能性があるためやめましょう。

※この適量は飲まない人へ推奨するものではありません。

～健康増進グループ 管理栄養士より～

消費者コラム⑨

消費者ほっと♥らいふナビ

これからの時期、クリスマスや年末年始と、お金の出入りが多くなりますね。子どもにとっても、お年玉やおこづかい・プレゼントをもらう機会が増える時期です。お金について学ぶ機会は学校でも多くありますが、実際にお金を使うとなると、家庭での生活ぶりが大きく影響してきます。子どもが自立した生活を送れるようになるためにも、家族でお金について話し合ってみましょう。

【子どもと一緒に買い物しよう】

家庭での金銭教育としてよく挙げられるのは「おこづかい」ですが、一緒に買い物をする中で学べることもあります。決められた予算の範囲で一緒に夕食の献立を考えたり、「安くてもすぐダメになってしまうもの」と「高くても長く使えるもの」のように、同じ商品でも価格が違う理由があり、こういった視点でものやサービスを選択すべきかを、買い物の現場で伝えることができます。

【子どもに問いかけ考えさせる】

欲しいものを「我慢しなさい」と言うのではなく「買ってもらうでも結局使わなかったものはない？」等と質問を投げかけ考えさせることにより、子どもの考える力・判断する力を養うことができます。

おすすめ！

【金融広報中央委員会「知るぽると」】

<http://www.shiruporuto.jp/>

小学生がお金のことを大人と一緒に学べるコーナー「おかねのね」や、将来の暮らし向きが簡単に診断できる「生活設計診断」など、お金についての情報をわかりやすく解説しています。

「子は親を映す鏡」といわれますが、子どもは本当によく親を見ています。子どもの行動を振り返ってみて、心当たりはありませんか？お金を使うべきところと節制すべきところを示しながら、正しくお金を使う姿を見せたいですね。

那須烏山市消費生活センター(烏山庁舎1階、商工観光課内)

【専用電話番号】0287-83-1014

【受付時間】平日9:00～12:00、13:00～16:30

※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン☎188(局番なし)」へご相談ください。

ふるさとで恩返しコンサート

旧鳥山町出身
サクソフオーン奏者富岡さん

旧鳥山町出身でサクソフオーン奏者の富岡（旧姓川俣）和男さんによる「ふるさとコンサート」が、11月4日（土）、鳥山体育館で開かれ、恩師や同級生など地域住民約600人が訪れました。

富岡さんは、小学2年生まで旧鳥山町に暮らしていました。東京藝大卒で、日本のサクソフオーン奏者として初めて日本音楽コンクール1位を受賞するなど、世界的に演奏活動を行い、日本のサクソフオーン界をけん引し続けてきました。また、同

大客員教授なども歴任し、次世代を担う演奏家を育成してきました。現在は、第一線を退きましたが、「お世話になった人たちに恩返しをしたい」と、小学生時代の同級生らの協力で数十年前ぶりに本市でのコンサートを企画しました。

当日は、富岡さんがソプラノサクソス、妻の英子さんがピアノ、教え子の中嶋紗也さんがテナーサクソスを演奏。「G線上のアリア」や「アヴェ・マリア」などアンコールを含

めた約10曲を披露し、会場いっぱいには郷愁の音色が響き渡りました。途中には、手拍子や足踏みなど、来場者と共にリズムを刻む場面もあり、会場が一体となって一つの音楽を奏でました。

富岡さんは、「鳥山に帰ってくると特別な思いが込み上げてくる。今日は故郷の皆さんに演奏を聴いてもらえて嬉しかった」とコンサートを振り返りました。



上：サクソとピアノによるコンサート／下：小学校時代の恩師から花束を受け取る富岡さん（右）。



下川井の網野夫婦 80歳超えた記念に

80歳夫婦書道展を開催

11月14日（火）から30日（木）にかけて、南那須図書館展示ホールで「80歳夫婦書道展」が開かれました。

企画したのは、下川井の網野政男さん、トシさんの夫婦。定年退職後、趣味として書道を始めましたが、現在にかけては、書道教室を開いているほか、陵風書道会川井支部に所属し、腕を磨いています。今回は、夫婦二人とも80歳を超えたことをきっかけに初めて夫婦での書道展を

開いたといいます。

書道展には、篆書や隸書、楷書、墨画など今までに書き上げた作品47点が展示されました。一文字ずつ丹精込めて書かれた文字からは書道の奥深さがひしひしと感じられ、訪れた人を魅了しました。

網野夫婦は、「これからもたくさん仲間と交流しながら目標に向かって切磋琢磨し、書道を続けていきたい」と話していました。



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計グループ ☎0287-83-1112



書道展を開いた網野夫婦。

トリックオアトリート!

上境中組育成会で ハロウィンパーティー

10月29日(日)、子どもたちに秋の行事を楽しんでもらおうと、上境中組育成会(石川誠会長)によるハロウィンパーティーが、上境の宝幢寺で開かれました。

当日は、あいにくの天候で予定されていたパレードは中止となってしまいましたが、子どもから大人までキャラクターやドラキュラ、魔女などに仮装をし、ハロウィンパーティーを楽しみました。

石川会長は、「初めての企画で、手探り状態だったが、楽しいパーティーができた。来年はもっとグレードアップさせたい」と話していました。



仮装を楽しむ上境中組育成会の皆さん。

七合公民館まつりと収穫祭 多彩な催しでにぎわう

七合公民館(駒場不二夫館長)では、11月12日(日)、七合会(木村保司会長)や大桶地区みどり保全会(木村義二会長)と合同で、「七合公民館祭り」と「泥んこ田んぼ体験事業収穫祭」を開催しました。



上:毎年好評の大鍋で作った豚汁。



下:マジックに興奮する子どもたち。

当日は、地域住民や若鮎クラブの子どもたちなど約200人が参加。体験事業で10月に収穫した古代米を使った赤飯や、地元野菜をふんだんに使った豚汁などが振舞われ、参加者は手作

りの味に舌鼓を打ちました。また、餅つき体験、大桶と興野の直売所による野菜や加工品の販売なども行われました。

一方、館内では、公民館まつりとして、烏山語りの会による民話の語りや、烏山南公民館の館長でシルバー大学OBの鈴木初男さんによる手品が披露され、本市に昔から伝わる懐かしさあふれる民話とわっと驚くような手品に子どもから大人までが楽しみました。恒例の作品展では、地域住民から集められた絵画や盆栽、写真、手芸品などの作品がずらりと並び、大勢の人が足を運びました。

烏山地区民俗文化奉仕協会が40周年

チャリティショーに107組

烏山地区民俗文化奉仕協会が今年、発足40周年を迎え、11月12日(日)に烏山公民館で行われた「第40回歳末たすけあいチャリティショー」で参加者とともに祝い合いました。

同協会では、発足当時から、年に2回、春と冬にチャリティショーを開催しており、今回のショーで、通算80回を記録しました。参加者の中には、市内だけでなく、市外からも参加する人も年々増え、にぎわいを見せています。

当日は、107組の参加者がステージ衣装に身を包み、歌や

詩吟、舞踊など日頃の練習の成果を披露。観客からは、あたたかい拍手が送られ、会場は終始わきあいあいとした雰囲気になっていました。

同協会の川俣伸会長は、「40年間も続けてこられたのは、みなさんのおかげ。年々盛大にショーを開催できることが嬉しい。これからもみなさんに楽しんでもらえるようなショーにしていきたい」と話していました。また、今回集められた寄付金のは、6万2203円は、市社会福祉協議会に寄附され、福祉の場で活用されます。



ステージで披露された歌や舞踊。

おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者住所)
 星 湊 月 (哲平・あづみ) 神 長
 下 重 希 咲 愛 (剛・摩理愛) 神 長
 三 尾 谷 香 穂 (和宏・光江) 中 山
 松 井 緑 彩 (光・紫音) 大 里
 熊 田 瑛 那 (真人・彩) 中央1丁目
 小 山 楓 (博文・絢香) 金井1丁目
 中 山 慶 都 (崇・久美子) 金井1丁目
 ※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果★

●秋季婦人バレーボール大会(10月16日(月)18時、南那須中体育館)
 ▼優勝：四ツ葉 ▼準優勝：からゝず
 ▼第3位：藤田

●第11回市長杯(混合)ソフトボール大会(10月17日(火)18時、30日(月)緑地運動公園)
 ▼優勝：こぶし台ソフトボールクラブ
 ▼準優勝：荒川南 ▼第3位：鴻野山、南大和久

●第12回那須烏山市民親善交通安全ラウンド・ゴルフ大会(10月25日(水)、大桶運動公園)
 ▼優勝：水井守 ▼準優勝：栗田晃志
 ▼第3位：藤田律子

●平成29年度南那須地区中学校駅伝大会(10月28日(土)、高根沢町町民広場周辺)
 「女子」▼優勝：烏山中学校 ▼第3位：南那須中学校

「男子」▼準優勝：烏山中学校

文芸コーナー俳句選者 齋藤穂さんが勇退 次月号から水野信一さんへバトンタッチ

広報紙文芸コーナーの俳句選者である齋藤穂さん(下境)が、今月号を最後に、選者を勇退することになりました。

齋藤さんは、平成13年6月号から旧烏山町の広報紙文芸選者に就任。合併後も、選者としてご活躍されてきました。今までを振り返り、齋藤さんは、「一度のクレームもなく、順調にここまでこられたことに投句者や関係者の皆さんに厚く御礼を申し上げます。これからも広報紙の一隅にほっと一息つけるような『文芸コーナー』であってほしい」と話していました。



齋藤さん。

この場をお借りし、御礼申し上げます。齋藤さん長い間ありがとうございました。

次号からは、齋藤さんのご推薦により、水野信一さん(月次)に選者をお願いすることになりました。

水野さんは、「選者として、心が表れるような良い句を選び、投句者のレベルアップを図りたい」と意気込みを語ってくれました。

水野さん、これから宜しくお願いいたします。



水野さん。

●第62回塩那親善弓道大会(11月5日(日)、烏山弓道場)

「高校団体の部」▼優勝：烏山高校A
 ▼準優勝：烏山高校C ▼第3位：烏山高校B

「一般団体の部」▼準優勝：那須烏山A
 「一般個人の部」▼優勝：雫由起男
 ●平成29年度栃木県民スポーツ大会ゲートボール競技(10月15日(日)、宇都宮市陽南第一公園)

▼優勝：那須烏山市

●平成29年度栃木県民スポーツ大会陸上競技(10月15日(日)、大田原市美原公園陸上競技場)

「青年男子5000E」▼第3位：小堀佑真
 「一般女子走幅跳」▼第3位：大森沙織

「一般女子砲丸投」▼第2位：城所舞
 ●平成29年度秋季男女混合市民バレーボール大会(11月6日(月)9日(水)、南那須中学校)
 ▼優勝：チームY ▼準優勝：四ツ葉
 ▼第3位：からゝず

編集後記



○近年、ニュースなどでよく耳にする、女性の社会進出。日本は、他の国と比べて遅れている...と言われていますが、11月にここ那須烏山市で、県内初の女性市長となる川俣市長が就任されました！

○同じ女性として、私も頑張らないとな...と思っています。そう思った女性は今少なくないはず...。これがきっかけで、市内に住む女性たちが強くなった...それは冗談ですが、那須烏山市をみんなで盛り上げていければいいですね。

○さて、話は変わりますが、先日、取材先で仲良くなった小学生たちがいるんです。名前も覚えてくれて、取材中ずっとアシスタントをしてくれていたのですが、なぜか途中から呼ばれ方が変わり、まさかの「おかあさん」。いつまでも「広報のおねえさん」でいられないことは分かっていたけれど、おかあさんって...。

○まだ出産歴はなかったと思うのですが、早くも母のカンロクが出てしまったのでした？



Information



新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

2017.11.1現在
 ()対前月比

人口 26,177(-34)

男 12,936 女 13,241
 出生 9 死亡 40
 転入 55 転出 58

世帯数 9,411

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

★一般図書★

『人工知能の核心』 羽生 善治
 『「どうせ無理」と思っている君へ』 植松 努
 『まねる力』 齋藤 孝
 『大人のための社会科』 井手 英策
 『注文をまちがえる料理店』 小国 士朗
 『前置詞キャラ図鑑』 関 正生
 『ありがとうのかんづめ』 俵 万智
 『かるい生活』 群 ようこ
 『サーチライトと誘蛾灯』 櫻田 智也

★児童図書★

『ドラえもんはじめての論語』 君子編
 安岡 定子
 『おじいちゃんじてんしゃおしえて』
 たかはし のりひこ
 『ねこの町のダリオ写真館』 小手鞠 るい
 『きみ、なにがすき?』 はせがわ さとみ
 『ふたつでひとつ』 かじり みな子

『レモンちゃん』 さとう めぐみ
 『ありがとうございます』 塚本 やすし
 『ようこそロイドホテルへ』 野坂 悦子
 『たんたんたまご』 高木 あきこ

★DVD★

『信長協奏曲』 松山 博昭監督
 『学校の怪談 1・2』 平山 秀幸監督
 『疾風ロンド』 吉田 照幸監督
 『任侠ヘルパー』 西谷 弘監督
 『全員片想い』 飯塚 健監督ほか
 『ドクター ストレンジ』 スコット・デリクソン監督
 『ファイナル・ブレイク』 ウェントワース・ミラー監督
 『ライオン・ガード 最強のチーム』 ロジャー・アラーズ監督
 『カンフー・パンダ 3』 ジェニファー・ユー・ネルソン監督

文芸コーナー

俳句

齋藤 穂 選

一合の酒にみたされ秋深む

伊藤 博志(田野倉)

里帰り父と八溝の走り蕎麦

伊東 澄子(中央)

紅差して母のほほ笑む敬老日

高德 美井(大金)

木守柿鳥食べぬまま落ちにけり

小針 久子(月次)

川柳

篠崎 酔月 選

一秒の差で起きている事件事故

南 美保子(福岡)

飲める人勧め上手に酒を注ぎ

久郷 牛歩(高瀬)

少子化の運動会に老いの顔

小堀 翠泉(中央)

看護師も家で優しいお母さん

羽石 妙子(向田)

短歌

福澤 悦子 選

今年も棚田の稲刈りに 娘に遭遇す これも

自然の付き合いならん 清水 利夫(志鳥)

ひとり居の秩父の姉に柿送る庭の山茶花野菊

も添えて 高野 久子(大桶)

紫に茄子の花咲く霧の朝何か良きことある

予感する 須藤 ヤス(志鳥)

月照らし虫の音ひびく肌寒き夜を一人寂しく

時を過ごせり 須田 孝子(城東)

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報統計グループ
 (〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
 1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

文芸コーナーに 投稿してみませんか

ふるさと応援寄附金

・安齋勇一様(福島県二本松市)、生
 沼理志様(神奈川県川崎市)、富岡孝
 仁(大阪府豊中市)、小林昌彦(東京都豊
 島区)、からそれぞれ1万円、匿名希
 望者様40人から合計85万5000
 円が本市に寄附されました。

市奨学基金寄附金

秋山久様(東京都小平市)から2万
 円が寄附されました。

文芸コーナーに 投稿してみませんか

「広報なすからすやま」では、文
 芸コーナーで、「俳句」「川柳」「短歌」
 を募集しています。

本市に住所がある人であれば、
 年齢や性別を問わずどなたでも応
 募していただけます。ただし、未
 発表作品に限りません。

応募方法は、上記の文芸コー
 ナー「作品募集」をご覧ください。

おわびと訂正

11月号20ページで「矢板東
 高2年の酒主朋美さん」とあ
 るのは、正しくは「矢板東高2
 年の坂主朋美さん」です。訂
 正しおわび申し上げます。

シリーズ

鳥山高校ってどんなところ！部活動を知ろう編②

生徒会

鳥山高校の部活動等で頑張る生徒を紹介してきましたが、今月号で最後となりました。
来月号からは、今年度から始まった「鳥山学」について3号連続で紹介します。



新旧生徒会役員のみなさん。

13人の役員で構成される生徒会は、「誰もが学校を楽しく過ごせるように」を目標に、学校に設置してある目安箱の管理や生徒会新聞の発行、文化祭やマラソン大会などの年間行事の開催などに関わっています。

最近では、目安箱に生徒から投函された「体育祭をやりたい」という意見をきっかけに、毎年開催していた球技大会を翌年から体育祭へと規模を拡大するなど、より学校生活が充実するようにと活動を展開しています。

現在は、受験生に向けた鳥山高校のPRパンフレットの作成にあたっています。



2年(月次)会長
星川 恵里奈さん

学校行事などとおして、生徒みんなが高校生活を心から楽しいと思ってもらえるような学校にしていきたいです。何か学校生活で困っていることがあれば、私たちが解決する手助けをしていきたいです。

那須烏山ジオパーク構想だより⑧

「見どころ紹介」

ちやうじやがだらうかんがいせきつけたり
長者ヶ平官衙遺跡附
東山道跡

何とも仰々しい名前ですが、

つまりは「長者ヶ平にあった官衙の跡とその側を通る東山道の跡」という意味。那須烏山市(鴻野山と小白井)、さくら市にわたる遺跡で平成21年に国史跡に指定されました。ジオに関わる歴史を示すものとして、ジオサイトのひとつに選定しています。

「官衙」とは奈良時代から平安時代の役所のこと。これまでの発掘調査で掘立柱建物跡や



区画された溝跡などの遺構が確認され、官衙であるとわかりました。「東山道」とは古代の行政区画で、主要な七つの道路のうち都から陸奥国を結ぶ駅路(道路も「東山道」と言います。

歴史的価値のある遺跡ですが、なぜこの場所に作ったのかを考えてみても興味深いです。きつと少なからず地理的な影響があったのでしょう。一見関係のないものでも、見方を変えることで「ジオ」は姿を現すのです。